

# Champion Ryoyu 個人総合 V 小林 陵侑



(写真) 土屋ホーム提供【SAJ31承認第00441号】

**Profile** 小林 陵侑 (こばやしりょうゆう)  
 松尾中、盛岡中央高から2015年に土屋ホームへ入社。中学3年時に全中スキー大会でジャンプと複合の2冠を達成。高校2、3年時に国体少年複合を連覇した。入社と同時にジャンプに専念。昨年の平昌冬季五輪では、いずれも日本勢トップのノーマルヒル7位、ラージヒル10位の成績を残した。174㍑、59㍑。22歳。



(写真) 土屋ホーム提供【SAJ31承認第00441号】

W杯ジャンプ男子個人第23戦は3月10日、オスロ(フルウエー)で開かれ、小林陵侑選手は5位に入り、5戦を残し、日本男子初の個人総合優勝を決めました。  
 今季は、初戦3位と個人戦で初めて表彰台に立つと、第2戦で初勝利を挙げ、前半から好調をキープ。年末年始に伝統のジャンプ週間(第8、11戦)では、史上3人目の4戦全勝優勝を果たし、完全制覇の偉業を成し遂げました。  
 第12戦には男子の最多に並ぶ史上5人目の6連勝を達成。前人未到の7連勝は

かなわなかったものの、その後も安定したパフォーマンスを見せ、個人総合トップを独走しました。  
 終わってみれば、シーズン13勝は、史上3人目で2位タイの記録。また、今季の表彰台は21度で単独2位。第23、26戦と団体2戦で争うノルウエー版ジャンプ週間「ロー・エア」も勝ち取りました。勢いは最後までとどまる所を知らず、13勝目を決めた最終戦では、日本最長飛距離252㍑を記録。最後まで記録すくめで、有終の美を飾りました。

## 永井秀昭選手と小林潤志郎選手も世界で躍動

**永井 秀昭(複合)**  
 岐阜日野自動車所属  
 170㍑、62㍑。35歳。  
**【今季W杯成績】**  
 W杯個人総合29位。合計134得点で、日本人選手4番目の成績。個人の最高順位は第11戦の11位。団体第1戦では、日本5季ぶりの表彰台確保となる2位に貢献した。



(写真) 岐阜日野自動車提供【SAJ31承認第00443号】

**小林 潤志郎(ジャンプ)**  
 雪印メグミルク所属  
 168㍑、56㍑。27歳。  
**【今季W杯成績】**  
 W杯個人総合19位。合計335得点で、日本人選手2番目の成績。個人の最高順位は第9戦の5位。弟の陵侑選手と共に男子団体全7戦に出場し、第5戦では、今季最高の2位に貢献した。



(写真) 雪印メグミルク提供【SAJ31承認第00442号】

戦	月・日	会場	順位
1	11・18	ビスワ	③
2	11・24	ルカ	①
3	11・25	ルカ	①
4	12・1	ニジニタギル	③
5	12・2	ニジニタギル	①
6	12・15	エンゲルベルク	⑦
7	12・16	エンゲルベルク	①
8	12・30	オーベルストドルフ	①
9	1・1	ガルミッツシュパルテンキルヘン	①
10	1・4	インスブルック	①
11	1・6	ビショフスホーフェン	①
12	1・12	バルデイフィエメ	①
13	1・13	バルデイフィエメ	⑦
14	1・20	ザコパネ	⑦
15	1・26	札幌	⑤
16	1・27	札幌	③
17	2・1	オーベルストドルフ	⑭
18	2・2	オーベルストドルフ	①
19	2・3	オーベルストドルフ	⑨
20	2・10	ラハティ	②
21	2・16	ピリンゲン	③
22	2・17	ピリンゲン	①
23	3・10	オスロ	⑤
24	3・12	リレハンメル	③
25	3・14	トロンヘイム	①
26	3・17	ビケルスン	②
27	3・22	プラニツァ	②
28	3・24	プラニツァ	①

優勝(13回)、2位(3回)、3位(5回)、5位(2回)、7位(3回)、9位、14位(各1回)で合計2085点を記録

★小林陵侑選手W杯個人戦成績★